

宮崎県埋蔵文化財センター

研 究 紀 要

第1集

2013年3月



宮崎県埋蔵文化財センター

発刊にあたって

埋蔵文化財は、地域の豊かな歴史を包蔵した文化遺産であり、発掘調査は先人の足跡をさまざまな手段で復元し、記録して半永久的に保存しようとする人類の「知」に関わる行為であることは多言を要さない。

しかし一方で、発掘調査は埋蔵文化財の破壊・解体を伴い、やり直しがきかないという性質を具有している。

このため、宮崎県埋蔵文化財センターは、本県発掘調査の最先端に立つ組織として、発掘調査の精度向上を図りながら研究成果の蓄積に努める必要があり、このことが学術面への貢献のみならず、郷土の歴史解明にもつながり、本県文化の向上に寄与することとなろう。

今回、上述の目標達成に向けた第一歩を踏み出すために、ここに『宮崎県埋蔵文化財センター研究紀要』を刊行し、広く公開するものである。関係各位の御指導、御叱正を心より期待したい。

宮崎県埋蔵文化財センター

所長 北郷 泰道

例 言

- 1 本書は、宮崎県埋蔵文化財センターの職員および県内の埋蔵文化財関連部署に所属する職員の研究活動の一端を紹介し、広く情報発信することで各々の資質向上を図り、ひいては県民文化の向上に寄与することを目的として発刊するものである。
- 2 掲載されている論文等の内容や見解は執筆者個人に属するものであり、宮崎県教育委員会あるいは宮崎県埋蔵文化財センターの公式見解を示すものではない。
- 3 本書は Microsoft 社製の Microsoft Word2010、Microsoft Excel2010 で編集し、PDF 版で公開するものである。

目 次

西都市寺崎遺跡出土の縄文時代晩期土器	……	吉本正典	……	1	
宮崎県内出土のガラス玉の分析について	……	橋本英俊	……	5	
宮崎県埋蔵文化財センターで調査した遺跡の自然科学分析 ～実施遺跡とフローテーションの土量について～					
		……	谷口めぐみ	……	9

西都市寺崎遺跡出土の縄文時代晩期土器

吉本正典

(宮崎県埋蔵文化財センター)

1 はじめに

ここで報告する資料は、宮崎県教育委員会による寺崎遺跡の確認調査により出土した縄文時代晩期の土器である。宮崎県西都市大字右松字刎田に所在する寺崎遺跡は、西都原台地より一段低く、一ツ瀬川の沖積面より高位にあたる段丘面上（標高約 18m）に立地する。宮崎県教育委員会による遺跡詳細分布調査や確認調査の結果、古代の日向国府が存在した地であることが判明し、平成 17 年に国史跡に指定された。現在は西都市教育委員会によって整備に向けた確認調査が実施されている。

確認調査の成果をまとめた報告書（宮崎県教委 2001）は、その主旨・性格からして古代の遺構・遺物を中心に据えている。このため、縄文時代の遺物については晩期の浅鉢と石錘、軽石製品各 1 点が図化されたのみであり、必ずしも十分な資料化がなされていなかった。そこで今回、一部について図化して公表し、併せて特徴的な点について記しておきたい。

2 出土位置・状況

寺崎遺跡では、Ⅲ層とした黒褐色土層、あるいは古代の遺構の埋土中より縄文時代晩期の土器が出土している。このⅢ層黒褐色土層は鬼界アカホヤ層の直上に堆積しており、縄文時代晩期の遺物の主たる包含層と考えられる¹⁾。最も多く出土した地点は F 区（旧 7 次 A 区）である。正殿建物跡が検出された調査区で、わずかながら付近では最も標高が高い。

3 資料の特徴

現在、宮崎県埋蔵文化財センター分館に収蔵されている遺物ケースの中から選別し、19 点について図化を行った（第 1 図）。これら以外に多くの胴～底部破片があつてしかるべきだが、おびただしい数量の古代～中世の土器に混在している状況である。図化した土器が孔列土器や浅鉢で占められるのは、そのような中であっても容易に当該期の土器と判別できた為である。

1～12 が深鉢ないしは鉢、13～19 は浅鉢である²⁾。個々の図面の下部に、それぞれの出土位置と色調、肉眼で識別できる胎土中の混入物を記している。

(1) 深鉢・鉢

器形の全容が判断できる個体はない。このように無刻目突帯を巡らせ、孔列文を有する土器は通常は深鉢に分類されるが、鉢とすべき個体も含まれている可能性がある。口縁部に肥厚帯を巡らせて口縁下部に段を形成するものと、口縁部の下位に断面三角形に近い突帯を付すものに大別できる。

1 は幅の広い肥厚帯部を形成する。口縁下の段の下位に孔列文を施す。孔の径は 6 mm、一方の孔の端部と隣の孔の端部との間の距離は 17mm、口縁上端から孔の中心までの距離は 26mm である。孔は外面から穿たれており、うち 1 つは内面に達し、径 1mm ほどの小さな

孔が開く。焼成前に工具で押圧したため内面に瘤状の突出部が認められる。これはほとんどの個体に共通する特徴である。口縁部が波打っており、鱗状突起に近い部位であると推定できる。2は肥厚帯部に外面から内面に向けて貫通する孔列文を施す。孔径は6mm、孔端間距離は14mm、口縁上端～中心間距離は13mm。3も基本的に非貫通の孔列文であろうが、1つは内面に孔が達している。孔径は7mm、孔端間距離は16mm、口縁上端～中心間距離は18mmである。4は上述の1と同様、鱗状突起の近くの破片と考えられ、口縁部が波状となる。肥厚帯部に非貫通の孔列文が認められる。孔径は6mm。孔端間距離は16mm、口縁上端～中心間距離は19mmである。5は肥厚帯部下位に孔列文を施す。肥厚帯と表現したが、全体に押さえつけているためか厚みはなく、口唇下部と段部付近にわずかな盛り上がりがある。孔径は5mm、孔端間距離は17mm、口縁上端～中心間距離は21mmである。6は断面形状や孔列文の位置が5に似るが、孔の径が6mm、孔端間距離は26mmといずれの値もやや大きい。口縁上端～中心間距離は23mm。7は断面三角形の突帯の直下に非貫通の孔列文を施す。孔径は4mm、孔端間距離は16mm。口縁上端～中心間距離は20mm。8は口縁部に幅の狭い肥厚帯を巡らせ、その下位に孔列文を施す。基本的に非貫通であるが、1つは外面からの押圧が内面に達し小さな孔が開く。孔径は4mm、孔端間距離は21mm、口縁上端～中心間距離は21mmである。9は口唇部の直下にわずかな突出部を形成する。非貫通の孔列文を施す。孔径は6mm、孔端間距離は11～14mm、口縁上端～中心間距離は14～16mmである。深鉢ほどの個体にも胎土中に砂粒が混入しているが、この9は特に多く径4mmの小礫が混入している。10は口唇部から約10mm下に断面三角形の突出部を形成する。口縁部は外反し、おそらくは胴部で屈曲する。非貫通の孔列文が認められる。器壁の内面側に孔が貫通しないようにするためか、指で押さえた痕跡がある。孔径は5mm、孔端間距離は13mm、口縁上端～中心間距離は15mm。他と比べてひととき堅緻な印象を受ける。11は口縁部がわずかに波打つ。口縁部の狭い肥厚帯の下位に非貫通の孔列文が巡る。孔は小さく、径は3mm、孔端間距離は12～15mm、口縁上端～中心間距離は10mmである。12は口縁部に付く鱗状突起の部位である。外面、内面ともにわずかに段を形成する。

(2) 浅鉢

13は口縁部の復元径約39cmの浅鉢である。口縁部内面に抉り状の段を形成する。外面はミガキ調整が施される。14も同様に内面に抉り状の段を作出する。外・内面ともにミガキ調整を施す。胴部が直角に近い角度で屈曲する。15～17は頸部の外面に粘土紐を接合して短い口縁部を形成する点が共通する。いずれもミガキ調整を施す。18は肉厚の鱗状突起部位である。内面に沈線状の凹部を巡らせる。19は鱗状突起の部位である。

4 資料の位置づけ

(1) 編年的位置

これまで紹介した土器群は、同時性の保証された一括遺物とは異なるが、限られた範囲の同一包含層からの出土であり、近接する時間的位置を有する一群と考えられる。浅鉢は黒川式の範疇で捉えることが可能であり、筆者の設定する3B型式にあたる(吉本2012)。この種の浅鉢と無刻目突帯文を有する深鉢の組み合わせとしては、都城市高城町山城第1遺跡A区5号土坑出土の土器群がある(高城町教委2005)。また一括遺物ではないが松添貝塚出土

遺物の様相にも類似する（吉本 2011）。晩期中葉でも後半に位置するものとなろう。

（2）孔列文について

当土器群の孔列文は、外面から押圧された非貫通のものが卓越する。孔の径は4～7mmの幅の中にあり平均値は4.94mmである。また孔端間距離は狭いもので11mm、広いもので26mmとなり、平均値は16.28mmとなる。口縁上端～孔中心間距離は狭いもので10mm、広いもので26mm、平均値は18.0mmとなる。千羨幸による孔列文の計測と検討（千 2008）と照合するならば、孔径はやや小ぶりであるといえる。一方、その他の値については変異が大きく、傾向についての言及は難しい。

なお、孔の内部を観察したところでは、単純な棒状工具とは異なる施文原体が存在するようである。今回は成し得ないが、孔列文については、他地域からの情報移入という側面だけでなく、文様としての諸要素も掘り下げる必要があるだろう。

（3）深鉢と浅鉢の製作上の特質

縄文時代晩期中葉の土器に関しては、しばしば「精製」の浅鉢と「粗製」の深鉢といった対比で語られる。当土器群についても、深鉢には胎土中に砂粒を多く含んでおり、器面は粗く、多孔質となっているのに対し、浅鉢は胎土中の混入物が明らかに少なく、ミガキ調整がなされ平滑な器面となる。これは、それぞれの器種の役割（煮沸と貯蔵）に応じた調整を行った結果であろう。先に筆者は浅鉢が様式内でより高位に位置すると考えたが、そうであったとしても、両者の製作に投下された労働力に本質的な差異はなかったように思える。

4 おわりに

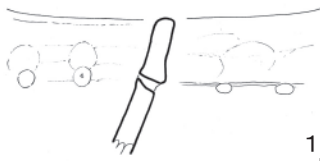
これまで寺崎遺跡周辺では、西都原台地上で当該期の竪穴建物跡の検出例がある（西都市教委 2006）が、未だまとまった数量ではなく、依然として様相の不明な部分も多い。今回紹介する資料が地域史解明の一助となることを期待したい。

【註】

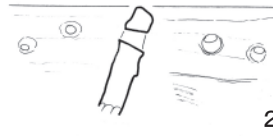
- 1 報告書（宮崎県教委 2001）では、Ⅲ層の堆積時期を縄文時代後期～晩期としており、明記はされていないが、わずかに後期の土器も出土したことがうかがえる。
- 2 器種の認定は通例に従った。器種の表記に際して「～形土器」は略している。

【文献】

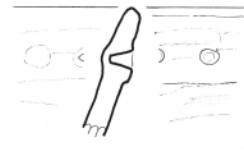
- 西都市教育委員会 2006 『西都原遺跡』（西都市埋蔵文化財発掘調査報告書第45集）
高城町教育委員会 2005 『細井地区遺跡群』（高城町文化財調査報告書第14集）
千羨幸 2008 「西日本の孔列土器」『日本考古学』25 日本考古学協会
宮崎県教育委員会 2001 『寺崎遺跡』（国衙跡保存整備基礎調査報告書）
吉本正典 2011 「宮崎市松添貝塚出土の縄文時代晩期土器」『宮崎県立西都原考古博物館研究紀要』7 宮崎県立西都原考古博物館
吉本正典 2012 「黒川式土器の歴史的位置」『九州考古学』87 九州考古学会



1
F区 青灰黄
白・灰白粒



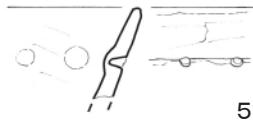
2
F区 にぶい黄
赤褐・灰色粒



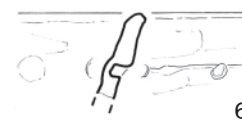
3
F区
黄灰・灰黄
赤褐・黄白色粒



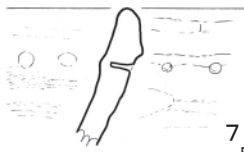
4
F区
浅黄 黄褐 灰



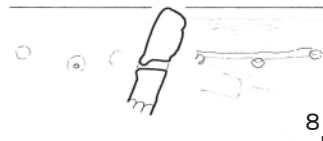
5
F区 (正殿柱穴内)
黄灰 赤褐・灰色粒



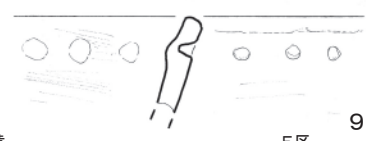
6
A区 柱穴内
にぶい黄
灰・褐・白粒多



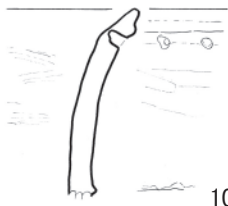
7
F区
暗灰黄 黄褐・灰



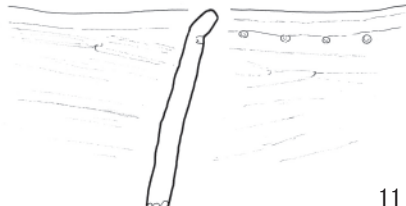
8
F区 にぶい黄
灰・褐色粒



9
F区
灰 赤褐 褐粒多



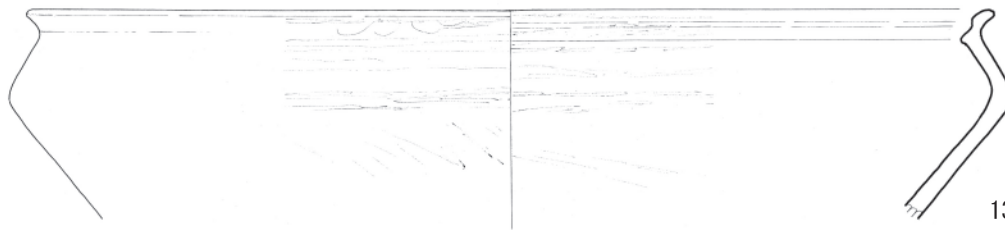
10
M区 にぶい黄橙
白・灰色粒



11
黄灰
赤褐・白



12
F区
にぶい黄
灰・褐 白



13
F区
黄灰 灰色褐色



14
M区
暗灰黄 白色粒



15
M区 築池溝内
暗灰黄 白色粒



16
F区 暗灰黄
レキ 褐色粒



17
F区
にぶい黄褐
白色粒



18
F区
にぶい黄褐 白・黒粒



19
F区
にぶい黄 白色粒



宮崎県内出土のガラス玉の分析について

橋本英俊

(宮崎県埋蔵文化財センター)

1 はじめに

宮崎県内出土の考古資料について、蛍光X線分析装置を用いた非破壊分析により、その化学組成の特徴から起源や産地を探っていくことは一つの課題であった。

この報告は、平成20年度、宮崎県立西都原考古博物館と熊本県立装飾古墳館の共催で開催した企画展「色と音の考古学」の際、テーマとして取り上げた「色」としての「玉類」、「顔料（ベンガラ・水銀朱）」の観察や蛍光X線分析に関するデータの蓄積の延長線上にある。

今回、平成24年度に熊本県立装飾古墳館において、東京理科大学応用化学科の中井泉教授、松崎真弓氏・澤村大地氏（東京理科大学）の協力を得て、県内出土のガラス玉類、今回は弥生時代から古墳時代の遺物についての分析を行った。

今回行った分析は、海外、特にアジアのガラス玉分析を数多く手掛けてこられた第一人者である中井教授のもと、考古学的立場からの資料提供を行うことにより、出土ガラスの産地、流通を探るための情報の蓄積を行うことを目的とし、今後、南九州への玉類の流入および海のシルクロードの解明の糸口を探ることにある。まだ、緒についたばかりであるため、分析試料の一覧と今後の展望について記したい。

2 分析について

定量分析では世界最高レベルの可搬型小型蛍光X線分析装置・ラマン光分析装置により、西アジア、南アジア、東南アジアで広くガラスの調査データを持つ、東京理科大学中井泉教授の調査チームと共同研究をすすめる方向で分析を行った。

3 分析試料

宮崎県埋蔵文化財センター所蔵のガラス玉、計30点を分析対象とした。分析した試料は弥生時代から古墳時代の遺跡出土であるが、一部、包含層出土のものも含まれている。

今回の分析は、時間の制約や試料数の関係などから、顔料に関する視点（主としてガラス色による選択（黄・緑・青・赤））および遺構の種別（横穴墓、地下式横穴墓、滅失古墳主体部、住居跡等）により行った。

4 分析の経過 ―主成分に関して―

分析中に速報値として確認された内容は以下のとおりである。ガラスについては、弥生時代はカリガラス、古墳時代にはアルミナソーダ石灰ガラスが主成分組成とされている。分析結果を待ち、検証を行う予定である。

- ・熊野原B遺跡12号住居出土小玉（トルコブルー）：カリガラス
- ・塚原C遺跡出土小玉（水色）：カリガラス
- ・山崎上ノ原遺跡2号主体部出土小玉（水色）：アルミナソーダ石灰ガラス、ラマン光分

析により水銀朱が確認された。

- ・尾花A遺跡住居跡出土小玉：アルミナソーダ石灰ガラス、成分上判定が難しい試料も含まれ、別途分析が必要
- ・朽木地下式横穴墓出土丸玉（青色）：報告書記載分析の結果を追認
- ・宮ノ前第2遺跡7号住居跡出土小玉（不透明水色）：カリ鉛ガラス
- ・迫内遺跡出土小玉（紺色）：再融解の可能性

5 今後の課題と展望

今後、取り組んでいく予定の課題についてここにいくつか挙げてみたい。

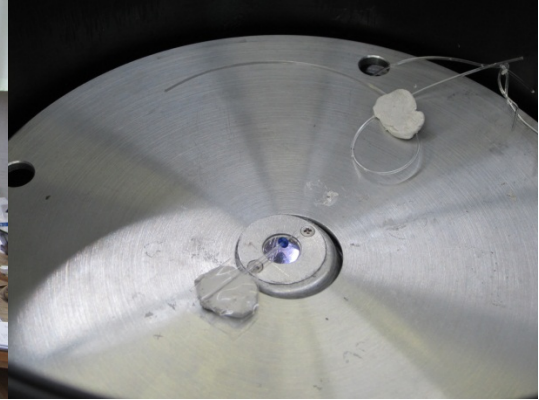
- ・蛍光X線分析にラマン光分析を併用することで、玉類の組成分析を行いガラスの種類を特定（カリガラス、アルミナソーダガラス等）し先行研究の結果との比較を行う。
- ・調査対象を宮崎県内の勾玉や他の玉類（いずれは、和ガラス等も）にまで範囲を広げ、データの蓄積を行い、九州（宮崎）への南からの流入の濃淡、分布、広くは交流（海のシルクロード）の解明へつなげていく。
- ・高塚古墳、地下式横穴墓等の墓制の違いによる差異や住居跡等の遺構から出土する事例について系統的に分析成果を蓄積していく。
- ・県内において遺跡の位置する場所によってガラスの流通の様相が異なっているのかあるいは時代による偏在があるのかを確認していく。
- ・県内では弥生時代出土例として確実な一例である、大萩遺跡土壙墓出土のガラス小玉の組成分析や韓国武寧王陵との類似性が指摘される串間市銭亀塚古墳出土雁木玉の分析など流通ルートの解明を目指していく。
- ・埋蔵文化財センター所蔵の試料にとどまらず、広く県内遺跡出土ガラス玉類の分析データを集積しガラスの種類傾向と組成の変遷を確認していく。
- ・今回の分析データについては、学会誌掲載または、文化財科学会等での発表による公表を予定している。

6 謝辞

今回、企画展「古代のガラス」会期中のご多忙の中、当センターの分析に時間を割いて試料の選別方法、分析前の準備等について丁寧にご指導いただきました熊本県立装飾古墳館の学芸課坂口圭太郎氏、池田朋生氏に厚くお礼申し上げます。また、試料を分析頂きました東京理科大学理学部応用化学科の中井泉教授、松崎真弓氏、澤村大地氏に深く感謝いたします。



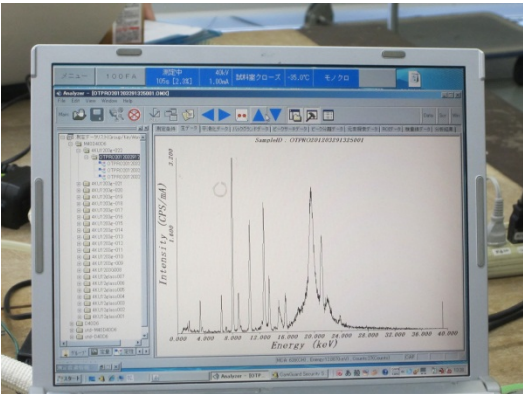
可搬型蛍光X線分析装置と中井教授



分析装置内部



可搬型ラマン光分析装置



データ解析



試料選別作業



分析済み試料の一例

分析玉類リスト

資料番号	出土遺跡	資料名	出土状況	時代	備考(色調・図版番号・登録番号)	文献
1	山崎下ノ原第1	小玉	2号主体部	古墳	黄緑色 図67	1
2	山崎下ノ原第1	小玉	2号主体部	古墳	紺色 図67	
3	山崎下ノ原第1	小玉	2号主体部	古墳	黄色 図67	
4	山崎下ノ原第1	小玉	2号主体部	古墳	緑色 図67	
5	山崎下ノ原第1	小玉	2号主体部	古墳	半透明青緑色 図67	
6	山崎下ノ原第1	小玉	2号主体部	古墳	水色 図67	
7	下耳切第3	勾玉	SN1第1主体部	古墳	瑪瑙? 図242-889	2
8	迫内	小玉	2号横穴墓	古墳	不透明水色 図100-405 063018	3
9	靱木地下式	小玉	1号地下式横穴墓	古墳	紺色 図15-51	4
10	靱木地下式	連玉	1号地下式横穴墓	古墳	瑠璃(分析あり) 図15-54	
11	山崎上ノ原第2	丸玉	土壌墓	古墳	青緑色(透明) C区	5
12	山崎上ノ原第2	小玉	1号住居跡	古墳	赤色 A区	
13	山崎上ノ原第2	小玉	1号住居跡	古墳	青色 A区	
14	山崎上ノ原第2	小玉	6号住居跡	古墳	水色(半透明) 図33-153	
15	山崎上ノ原第2	小玉	12号住居跡	古墳	青色(透明) 図101-624	
16	山崎上ノ原第2	丸玉	25号住居跡	古墳	透明 図77-475	6
17	熊野原B地区	小玉	12号住居跡	弥生	トルコブルー 920606	
18	宮ノ前第2	小玉	7号住居跡	弥生～古墳	不透明水色 報外 971314	7
19	宮ノ前第2	小玉	8号住居跡	弥生～古墳	緑色 報外 971337	
20	塚原C	小玉	包含層	前期古墳あり	水色 図70-15	8
21	尾花A	小玉	11号住居跡	弥生～古墳	青緑色 図212-2132	9
22	尾花A	小玉	20号住居跡	弥生～古墳	青緑色 図212-2142	
23	尾花A	管玉	S15	弥生～古墳	暗緑色 図212-2632	
24	尾花A	管玉	S163-20	弥生～古墳	淡緑色 図212-2709 04252709	
25	尾花A	管玉	S13-19	弥生～古墳	淡緑色 図212-2619 04252619	
26	平峰(3次)	小玉	40号住居跡	古墳	紺色 図68-300	10
27	平峰(3次)	小玉	ピット693	古墳	淡緑色 図68-299	
28	柿迫	棗玉?	表土	-	緑色 図48-288	11
29	野首第2	玉(欠損)	包含層	-	濃鮮緑色 図112-723	12
30	平原	トンボ玉?	包含層	-	半透明 報外 974315	13

文献

- 1 宮崎県埋蔵文化財センター 2003 『山崎下ノ原第1遺跡』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第79集
- 2 宮崎県埋蔵文化財センター 2006 『下耳切第3遺跡』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第125集
- 3 宮崎県埋蔵文化財センター 2002 『迫内遺跡』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第59集
- 4 宮崎県埋蔵文化財センター 2010 『靱木地下式横穴墓群』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第191集
- 5 宮崎県埋蔵文化財センター 2006 『山崎上ノ原第2遺跡Ⅱ』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第130集
- 6 宮崎県教育委員会 1988 『熊野原遺跡A・B地区』宮崎学園都市遺跡発掘調査報告書 第4集
- 7 宮崎県教育委員会 1993 『宮ノ前第2遺跡』国道218号線高千穂バイパス建設関係発掘調査報告書
- 8 宮崎県埋蔵文化財センター 2001 『塚原遺跡』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第44集
- 9 宮崎県埋蔵文化財センター 2011 『尾花A遺跡Ⅱ 弥生時代以降編』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第195集
- 10 宮崎県埋蔵文化財センター 2012 『平峰遺跡(第3次調査)』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第219集
- 11 宮崎県埋蔵文化財センター 2002 『柿迫遺跡』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第54集
- 12 宮崎県埋蔵文化財センター 2008 『野首第2遺跡 縄文時代後期・晩期、弥生時代、古墳時代、古代以降編』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第172集
- 13 宮崎県教育委員会 1994 『平原遺跡』九州縦貫自動車道(人吉～えびの間)建設に伴う埋蔵文化調査報告書 第2集

宮崎県埋蔵文化財センターで調査した遺跡の自然科学分析 ～実施遺跡とフローテーションの土量について～

谷口 めぐみ

(宮崎県埋蔵文化財センター)

1 はじめに

宮崎県埋蔵文化財センターでは、1990年代以降、東九州自動車道をはじめとした開発に伴う発掘調査を実施してきた。これらの調査では、考古学的な記録に加え、自然科学分析も数多く実施してきた。今回はその分析を実施した遺跡の集成を行い、今後分野ごとの研究をしていく上での基礎資料としたい。なお、フローテーションの土量については、本センター報告分の報告書にて未報告であった分を掲載する。

2 自然科学分析の傾向

本センターで実施してきた自然科学分析は、放射性炭素年代測定法実施遺跡が 97 遺跡と最も多く、ついでプラントオパール分析が 72 遺跡である。近年では、プラントオパール分析を実施した遺跡数は少ないが、放射性炭素年代測定法を実施する遺跡が多くなっている傾向が見られる。放射性炭素年代測定法は、炭化物を特定し実施しているため、合わせて樹種同定・種実同定を行う場合が多い。プラントオパール分析は遺跡周辺の古環境復元のために実施するケースが最も多いが古環境の復元に用いられる分析法の花粉分析や珪藻分析の実施は少なく、これは遺跡の立地場所等に起因するものだと考えられる。

3 フローテーションを実施した土の重量

本センターでは、東九州自動車道関連遺跡を中心にウォーターフローテーション法による炭化種子等の回収を行ってきた。報告遺跡の中には、フローテーションを実施した土量についての掲載がない遺跡があったため、データが残っていた 17 遺跡についてここで報告する。

4 今後の課題

今回は報告書内の自然科学分析の大まかな集成を行ったが、各分野の詳細についてまで触れることができなかった。また報告書の中では、自然科学分析の章がなく、本文中に触れられるだけのものも見られた。その場合、分析結果のグラフや表、写真などの掲載がないことが多い。特にプラントオパール分析では分析結果の表が出現率や生産率などを調べていく際に重要になるため、分析結果の公表をすることが今後の責務である。

今後はこのデータをもとに宮崎県内における自然科学分析の各分野の集成を行っていきたい。

謝辞

今回データを集成するにあたり、結城修氏（串間市立金谷小学校教諭）、藤木聡氏（西都原考古博物館）より提供して頂いたデータを参考に作成した。末筆ながら御礼申し上げたい。

集	遺跡名(書名)	所在地	刊行年度	①放射性炭素年代測定	②熱ルミネセンス年代測定	③火山灰(テフラ)同定	④樹種同定	⑤種実同定	⑥寄生虫卵分析	⑦獣骨貝類同定	⑧植物珪酸体(プラントオパール)	⑨花粉分析	⑩珪藻分析	⑪蛍光X線分析(胎土・顔料等の成分分析)	⑫蛍光X線分析(黒曜石等の産地推定)	⑬その他	⑭年代測定及び推定法 ⑮生業に関わる方法 ⑯古環境復元 ⑰遺物の材質及び技法 ⑱遺物の産地(製作地または原産地) その他(人骨分析等)
202	内野々遺跡・内野々第2・第3遺跡・内野々第4遺跡	都農町	平成22年度	○		○	○	○									テフラは内野々第2遺跡、その他は内野々遺跡。内野々遺跡では圧痕調査も実施
204	梅北針谷遺跡	都城市	平成22年度	○			○							○			金属分析には蛍光X線以外に顕微鏡観察、耐熱度、硬度、EPMA分析について調査
205	働女木遺跡	都城市	平成22年度	○			○	○									指輪破片の分析に顕微鏡観察とEPMA調査を用いる。
209	富吉前田遺跡	都城市山之口町	平成23年度	○			○							○			金属分析には蛍光X線以外に顕微鏡観察、耐熱度、硬度、EPMA分析について調査
210	塩見城跡	日向市	平成23年度	○			○							○			漆製品の被膜構造の観察を実施 金属分析には蛍光X線以外に顕微鏡観察、耐熱度、硬度、EPMA分析について調査 人骨分析実施
212	岡遺跡(第6・7次調査)・坂元第2遺跡	日向市	平成23年度	○													岡遺跡(6次)、坂元第2遺跡でのみ実施
213	向原中尾第1・2・4遺跡	日向市東郷町	平成23年度	○		○	○	○						○			テフラ分析は向原中尾第4遺跡 C14、樹種・種実同定、蛍光X線分析が向原中尾第2遺跡
214	舟川第2遺跡	都農町	平成23年度			○											
215	木戸平第2遺跡	都農町	平成23年度	○			○	○									
216	俵石第1遺跡(第2次調査)・俵石第2遺跡	都農町	平成23年度	○			○	○									自然科学分析は俵石第2遺跡のみ実施
217	延岡城内遺跡	延岡市	平成23年度											○		○	金属分析は蛍光X線以外に顕微鏡観察を実施
218	十郎ヶ尾遺跡	延岡市北方町	平成23年度	○										○			
219	平峰遺跡(3次調査)	都城市	平成23年度					○						○			蛍光X線分析は小玉と赤色顔料で実施
220	鉄肥城下町遺跡	日南市	平成23年度							○							
221	坂ノ口遺跡	串間市	平成23年度	○													
222	陣ノ口遺跡	都城市	平成24年度	○													
223	岡遺跡(第9・13・15次調査)	日向市	平成24年度	○		○	○										自然科学分析は9次と15次で実施
224	山崎上ノ原第1遺跡	宮崎市	平成24年度													○	金属分析は、顕微鏡観察と成分分析を実施
225	坂ノ下遺跡・中畑遺跡	延岡市北方町	平成24年度	○													両遺跡ともに放射性炭素年代測定を実施
226	長野遺跡・舟川第2遺跡(第3次調査)	都農町	平成24年度	○			○	○									
227	広原第1遺跡	高原町	平成24年度	○			○	○									土器の圧痕調査を実施
実施遺跡数				97	2	55	59	41	5	6	72	19	5	26	3	16	

123集 大内原遺跡

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
1	大内原	SD1	SW(南西)	1,240		
2	大内原	SD1	SW(南西)	1,000		
3	大内原	SD2	ES(東南)	2,600		
4	大内原	SD2	ES(東南)	1,740		
5	大内原	SD2	SW(南西)	2,240		
6	大内原	SD2	NW(北西)	1,900		
7	大内原	SD2	NW(北西)	2,980		
8	大内原	SD1	張床直上	940		
9	大内原	SA1	SE(南東)	1,180		
10	大内原	SA1	SE(南東)	1,880		
11	大内原	SA1	SE(南東)	2,120		
12	大内原	SA1	NE(北東)	920		
13	大内原	SA1	NE(北東)	820		
14	大内原	SA1	SW(南西)	1,800		
15	大内原	SA1	NE(北東)	1,580		
16	大内原	SA1	SW(南西)	2,460		
17	大内原	SA1	南西部	3,960		
18	大内原	SA1	南西部	2,800		
19	大内原	SA1	南東部	3,160		
20	大内原	SA1	南東部	2,060		
21	大内原	SA1	北東部	3,510		
22	大内原	SA1	張床直上	460		
23	大内原	SA1	北西部	4,350		
24	大内原	SA1	埋土(南西部)	380		
25	大内原	SA1	北東床面	740		

124集 西ノ別府遺跡

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
1	西ノ別府	SA1	炉埋土	1,500		
2	西ノ別府	SA1	No269	120		
3	西ノ別府	SA1	② 埋土	220		
4	西ノ別府	SA1	No340	180		
5	西ノ別府	SA1	No241	80		
6	西ノ別府	SA1	炉埋土	1,660		
7	西ノ別府	SA1	炉埋土	1,780		
8	西ノ別府	SA1	鏡下埋土	1,560		
9	西ノ別府	SC1	下層埋土	1,680		
10	西ノ別府	SC1	下層埋土	1,520		
11	西ノ別府	SC1	下層埋土	1,980		
12	西ノ別府	B11	ピット ミニチュア	未計測		

134集 永牟田第2遺跡

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
1	永牟田第2	MB3F		5,430		

139集 分蔵遺跡

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
1	分蔵	B区	東壁15層	2,220		
2	分蔵	B区	南壁暗黄褐色 砂質土	2,100		
3	分蔵	B区	東壁16層(深鉢 周辺)	2,300		

143集 中ノ迫第1遺跡(一次)

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
1	中ノ迫第1(一次)	IX上~中		1,650		
2	中ノ迫第1(一次)	IX	上部	420		
3	中ノ迫第1(一次)	SI6	下部	660		
4	中ノ迫第1(一次)	SC1		10,270		

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
5	中ノ迫第1(一次)	SC2		21,560		
6	中ノ迫第1(二次)	SA1	a	6,930		
7	中ノ迫第1(二次)	SA1	a床面	8,030		
8	中ノ迫第1(二次)	SA1	b	8,280		
9	中ノ迫第1(二次)	SA1	b床面	9,950		
10	中ノ迫第1(二次)	SA1	c	5,850		
11	中ノ迫第1(二次)	SA1	c床面	4,590		
13	中ノ迫第1(二次)	SA1	d床面	8,360		
14	中ノ迫第1(二次)	SA1	炭集中	3,520		

148集 八幡第2遺跡

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
1	八幡第2	SA4		61,320	イネ カヤツリグサ科 アカネ科?	3 4 6
2	八幡第2	SA5		60,640	アカネ科?	2
3	八幡第2	SA7		46,160	イチイガン イネ アカネ科?	1 1 8
4	八幡第2	SA7	SC1	120		
5	八幡第2	SA7	SC2	340		
6	八幡第2	SA7	SC3上	600		
7	八幡第2	SA7	SC3下	300		
8	八幡第2	SA7	SC4	340		
9	八幡第2	SA7	SC5	160		
10	八幡第2	SA7	ピット1	700		
11	八幡第2	SA7	ピット2	1,020		
12	八幡第2	SA7	ピット3	480		
13	八幡第2	SA7	ピット4	420		
14	八幡第2	SA7	炉横黒色土	760		
15	八幡第2	SA8		74,300	モモ アカネ科?	1 11
16	八幡第2	SA9		10,560	キケマン属	10
17	八幡第2	SA9	c埋土炭化物	780		
18	八幡第2	SA9	SC1	1,360		
19	八幡第2	SA10	SC2	980		
20	八幡第2	SA10	土器NO. 2内	120		
21	八幡第2	SA10	ピット1	1,120		
22	八幡第2	SI1		2,240		

149集 国光原遺跡

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
1	国光原	SA1	炉東	3,540		
2	国光原	SA1	炉南	3,340		
3	国光原	SA1	炉西	3,550		
4	国光原	SA1	炉北	4,020	コキンバイザサ アカネ科	2 3 報告書ではSA3の3、4に該当
5	国光原	SA3	炉東	2,620	イネ カヤツリグサ科 コキンバイザサ	1 4 3 報告書ではSA3の1、2に該当
6	国光原	SA3	炉南	4,420		
7	国光原	SA3	炉北	3,550		
8	国光原	SA7	炉東	3,820		
9	国光原	SA7	炉南	3,640		
10	国光原	SA7	炉西	3,640		
11	国光原	SA7	炉北	0		
12	国光原	SL1	北1	1,500		
13	国光原	SL1	北2	1,000		
14	国光原	SL1	北3	1,580		
15	国光原	SL1	北4	1,620		
16	国光原	SL1	北5	0		
17	国光原	SL1	中1	3,030		
18	国光原	SL1	中2	4,530	カヤツリグサ科	1 報告書ではSL1の3に該当
19	国光原	SL1	中3	3,200	イネ	3 報告書ではSL1の1、2に該当
20	国光原	SL1	南1	4,895		
21	国光原	SL1	南2	5,020		
22	国光原	SL1	南3	3,960		

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
23	国光原	SL1	南4	2,030		
※	国光原	SA7	-	-	ツブラジイ コナラ属 モモ	1 2 6 掘削作業時に発見したもの

151集 赤坂遺跡

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
1	赤坂	SM1	主a区	5,460	カヤツリグサ科	1 SM1より出土と記載
2	赤坂	SM1	主b区	3,740	キンバイザサ	1
3	赤坂	SM1	主2層	16,190	カラスザンショウ	2
4	赤坂	SM1	主5層	4,540	サンショウ属	1
5	赤坂	SM1	主7層	54,320		
6	赤坂	SM1	主8層	7,100		
7	赤坂	SM1	主9層	15,990		
8	赤坂	SM1	主11層	13,300		
9	赤坂	SM1	主12層	18,595		
10	赤坂	SM1	主13層	710		
11	赤坂	SM1	主15層	10,080		
12	赤坂	SM1	北ベルト	4,670		
13	赤坂	SM1	東ベルト	5,010		
14	赤坂	SM1	南ベルト	6,190		
15	赤坂	SM1	西ベルト	5,920		
16	赤坂	SM1	SEベルト	9,900		
17	赤坂	SL2	北ベルト	2,690	アワ	3 SL2より出土と記載
18	赤坂	SL2	東ベルト	2,680	カヤツリグサ科	1
19	赤坂	SL2	南ベルト	2,250	コキンバザサ	1
20	赤坂	SL2	西ベルト	2,100	カヤツリグサ科?	1
21		SL1	床	9,820	イネ?	1
22		SL3		5,070	イネ キンバイザサ	1 1
23		SA18	C土坑	4,740		
24		SA18	床直	2,660		

152集 湯牟田遺跡(二次調査)

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
1	湯牟田(第2次)	SA2-SC1		7,420		
2	湯牟田(第2次)	SA2-SC1	I層①	記録なし		
3	湯牟田(第2次)	SA2-SC1	IV層②	記録なし		
4	湯牟田(第2次)	SA2-SC5		5,440		
5	湯牟田(第2次)	SA2-SC6		記録なし		
6	湯牟田(第2次)	SA3	5	記録なし	ヤマモモ イチイガシ イネ ナズナ	1 1 4 1
7	湯牟田(第2次)	SA3-16		1,640		
8	湯牟田(第2次)	SA4	1b	記録なし	イネ オオムギ? ムギ類 イシミカワ ササゲ属	6 1 1 10 4
9	湯牟田(第2次)	SA5-2		610		
10	湯牟田(第2次)	SA5-52		740		
11	湯牟田(第2次)	SA6-19		300		
12	湯牟田(第2次)	SA6-20		160		
13	湯牟田(第2次)	SA10		記録なし	イチイガシ コナラ属 イネ カヤツリグサ科 タデ属 アカネ科? オナモミ	5 6 12 2 1 1 6
14	湯牟田(第2次)	SA10-28	甕	500		
15	湯牟田(第2次)	SA10-64		1,140		
16	湯牟田(第2次)	SA11-102		320		
17	湯牟田(第2次)	SA11-SC1		記録なし		
18	湯牟田(第2次)	SA13-82		510		

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)		備考
19	湯牟田(第2次)	SA13- SC29-16		1,490			
20	湯牟田(第2次)	SA16-SC4		記録なし			
21	湯牟田(第2次)	SA16-SC4	下層	記録なし			
22	湯牟田(第2次)	SA17- SC11-9		1,640			
23	湯牟田(第2次)	SA18-52		160			
24	湯牟田(第2次)	SA20	炉(焼土)	記録なし	イネ	2	
25	湯牟田(第2次)	SA20	炉	記録なし	イネ	1	
26	湯牟田(第2次)	SA20-65	甕	400			
27	湯牟田(第2次)	SA20-77	壺	記録なし			
28	湯牟田(第2次)	SC37	a	記録なし			
29	湯牟田(第2次)	SC37	b	記録なし			
30	湯牟田(第2次)	SC47	b2	記録なし	ササゲ属 キク亜科	1 1	
31	湯牟田(第2次)	SC48		記録なし			
32	湯牟田(第2次)	SC49		記録なし			
33	湯牟田(第2次)	SC55		記録なし			
34	湯牟田(第2次)	SC55	1層	記録なし			
35	湯牟田(第2次)	SC55	2層	記録なし			
36	湯牟田(第2次)	SC55	3層	記録なし			
37	湯牟田(第2次)	SC55	4層	記録なし			
38	湯牟田(第2次)	SC55	5層	記録なし			
39	湯牟田(第2次)	SC55	6層	記録なし			
40	湯牟田(第2次)	SC55	底部	記録なし			
41	湯牟田(第2次)	SC61	①	1,400			
42	湯牟田(第2次)	SC61	底面	2,820			
43	湯牟田(第2次)	SC61-1	土師椀	80			
44	湯牟田(第2次)	SC73		記録なし			
45	湯牟田(第2次)	SC74		記録なし			

157集 野首第1遺跡Ⅱ

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)		備考
1	野首第1	SI34	配石下	35,880			
2	野首第1	SI35	2層	171,395			
3	野首第1	SI35	配石下	9,570			
4	野首第1	SI36	2層	78,830			
5	野首第1	SC65	6層	16,450			
6	野首第1	SC65	7層	11,750			
7	野首第1	SC65	8層	17,520			
8	野首第1	SX2	土師器甕内	525			
※	野首第1	26号集石					不明種実が出土

162集 南中原第1遺跡(一次)

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)		備考
1	南中原第1	SC11		5,220			
2	南中原第1	SC12		11,960			
3	南中原第1	SC17		8,200			

169集 尾立第2遺跡

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)		備考
1	尾立第2	SX1	2層	2,320			
2	尾立第2	SX1	3層	4,980			
3	尾立第2	SX1		2,880			
4	尾立第2	SZ1		13,300			
5	尾立第2	SZ1	土器内埋土	2,640			

172集 野首第2遺跡(第二分冊)

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)		備考
1	野首第2	SA3	B-7	760	カラスザンショウ	1	
2	野首第2	SA3	E-6	900			
3	野首第2	SA3	I-4	860			
4	野首第2	SA3	I-6	900			
5	野首第2	SA5	G-5	760			

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
6	野首第2	SA5	H-2	900		
7	野首第2	SA5	NE区中央	920	アワ コキンバイザサ	1 1
8	野首第2	SA5	NE区中央下層	850		
9	野首第2	SA5	NE区中央上層	820		
10	野首第2	SA6か	2層	810		
11	野首第2	SA6か	B-2	800		
12	野首第2	SA6か	C-4	790		
13	野首第2	SA6か	C-7	920		
14	野首第2	SA6か	D-5	700		
15	野首第2	SA6か	D-7	830		
16	野首第2	SA6か	E-6	820		
17	野首第2	SA6か	E-7	820		
18	野首第2	SA6か	F-4	790		
19	野首第2	SA6か	F-7	710		
20	野首第2	SA6か	G-1	1,400		
21	野首第2	SA6か	H-1	840		
22	野首第2	SA6か	H-9	800		
23	野首第2	SA6か	I-7	820		
24	野首第2	SA6か	M-8	790		
25	野首第2	SA6か	NW区中央焼土	830		
26	野首第2	SA6か	SWベルト-3	710		
27	野首第2	SA6か	中央部	830		
28	野首第2	SA9	B-4	760		
29	野首第2	SA9	B-6	760		
30	野首第2	SA9	B-7	920		
31	野首第2	SA9	B-8	1,040		
32	野首第2	SA9	B-9	1,100		
33	野首第2	SA9	C-2	940		
34	野首第2	SA9	C-3	840		
35	野首第2	SA9	C-5	1,570		
36	野首第2	SA9	C-6	1,040		
37	野首第2	SA9	C-8	840		
38	野首第2	SA9	C-9	990		
39	野首第2	SA9	D-2	840		
40	野首第2	SA9	D-3	960		
41	野首第2	SA9	D-4	890		
42	野首第2	SA9	D-6	880		
43	野首第2	SA9	D-7	890		
44	野首第2	SA9	D-8	940		
45	野首第2	SA9	D-9	840		
46	野首第2	SA9	E-2	780	アワ?	1
47	野首第2	SA9	E-3	980		
48	野首第2	SA9	E-4	870		
49	野首第2	SA9	E-7	960		
50	野首第2	SA9	E-8	1,010		
51	野首第2	SA9	E-9	950		
52	野首第2	SA9	F-2	1,020		
53	野首第2	SA9	F-3	880		
54	野首第2	SA9	F-7	840	カラスザンショウ	1
55	野首第2	SA9	F-8	900		
56	野首第2	SA9	F-9	820		
57	野首第2	SA9	G-3	780		
58	野首第2	SA9	G-4	700		
59	野首第2	SA9	G-5	880		
60	野首第2	SA9	G-9	760		
61	野首第2	SA9	H-5	960		
62	野首第2	SA9	H-6上	790		
63	野首第2	SA9	H-6下	920		
64	野首第2	SA9	H-7下	860		
65	野首第2	SA9	H-8	840		
66	野首第2	SA9	I-4	900		
67	野首第2	SA9	NW区中央焼土	990		
68	野首第2	SA9	中央炉	820		
69	野首第2	SC1	埋土下層	820		
70	野首第2	SC2	下層	920		
71	野首第2	SI75	配石下土坑埋 土下層	860		
72	野首第2	SI75	配石下土坑埋 土下層	880		

176集 板平遺跡

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)		備考
1	板平	SP1	①	5,760			
2	板平	SP1	②	5,060			
3	板平	SP1	③	4,460			
4	板平	SP5		5,160			
5	板平	SP6		2,300			
6	板平	SP7		1,560			
7	板平	SP8		1,780			
8	板平	SP11		5,700			
9	板平	SP12		4,000			
10	板平	SC13		3,860			
11	板平	SC14		2,320			
12	板平	SA3	①	3,300			
13	板平	SA3	②	2,920			
15	板平	SA4	①	2,780			
16	板平	SA4	②	4,400			
17	板平	SA4	③	2,660			
18	板平	SA4	炉埋土	1,320			
19	板平	SA4	炉(2次)埋土	1,780			

195集 尾花A遺跡II

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)		備考
1	尾花A(第1次)	64	SA14-P10埋土	不明	コナラ属	1	
2	尾花A(第1次)	65	SA35-d埋土	不明	コナラ属	1	
3	尾花A(第1次)	67	SA20-中央床上	2,440			
4	尾花A(第1次)	68	SA15-SC1埋土	2,300			
5	尾花A(第1次)	69	SA18-SC1埋土	2,740			
6	尾花A(第1次)	70	SA18-SC1埋土	2,840			
7	尾花A(第1次)	71	SA55-SC1埋土	2860			
8	尾花A(第1次)	72	SA20-SC1埋土	3440			
9	尾花A(第1次)	73	SA20-中央床上	2520	ムギ類	1	
10	尾花A(第1次)	74	SA35-SC1埋土	4120			
11	尾花A(第1次)	75	SA118-381内包土	720	コキンバイザサ	1	
12	尾花A(第1次)	76	SA15-SC2埋土	2840	コキンバイザサ ササゲ属	1 1	
13	尾花A(第1次)	77	SC201-II層	3,340			
14	尾花A(第1次)	78	SA13-埋土	2,800			
15	尾花A(第1次)	80	SA23-中央床上	440	コキンバイザサ	2	
16	尾花A(第1次)	81	SA118-385内包土	140			
17	尾花A(第1次)	82	SA15-SC2埋土	2260			
18	尾花A(第1次)	83	SA12-SC11埋土	1400			
19	尾花A(第1次)	84	SA45-11内包土	920			
20	尾花A(第1次)	85	SA3-SC2埋土	940			
21	尾花A(第1次)	86	SA3-SC1埋土	500	イヌザンショウ	1	
22	尾花A(第1次)	87	SC105-埋土	2580			
23	尾花A(第1次)	88	SA37-SC1埋土	2200			
24	尾花A(第1次)	89	SA18-SC1埋土	3280	イネ ヒユ ヒユ属	1 1 2	
25	尾花A(第1次)	90	SA118-SC埋土	3,400	コキンバイザサ	1	
26	尾花A(第1次)	91	SC24-II層	3,120			
27	尾花A(第1次)	92	SA47-埋土	2,760			
28	尾花A(第1次)	94	SC37-敷石上面	2,260			
29	尾花A(第1次)	95	SA15-SC1埋土	2,920			
30	尾花A(第1次)	97	SA47-埋土	3,520			
31	尾花A(第1次)	98	SC102-埋土	1,700			
32	尾花A(第1次)	99	SC102-埋土	1,440			
33	尾花A(第1次)	100	SC40-埋土	1,620			
34	尾花A(第1次)	101	SA55-SC1埋土	2,940			
35	尾花A(第1次)	102	SC40-埋土	1,680			
36	尾花A(第1次)	103	SA107-357内包土	840			
37	尾花A(第1次)	104	SA15-SC2埋土	2,960			

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)		備考
38	尾花A(第1次)	106	SA118-374内包土	1,260	コキンバイザサ	4	
39	尾花A(第1次)	107	SC23-埋土	1,840			
40	尾花A(第1次)	108	SC49-III層	1,780	アワ	1	
41	尾花A(第1次)				コキンバイザサ		
42	尾花A(第1次)	109	SA5-SC1埋土	3,220			
43	尾花A(第1次)	110	SC95-埋土	1,440			
44	尾花A(第1次)	111	SA5-SC1埋土	1,300	チシャノキ	1	
45	尾花A(第1次)	112	SC14-埋土	3360			
46	尾花A(第1次)	113	SA3-SC1埋土	1540			
47	尾花A(第1次)	114	SA13-SC44埋土	2,920	コキンバイザサ	1	
48	尾花A(第1次)	116	SC107-埋土	2780	マメグンバイナズナ属 -グンバイナズナ属	1	
49	尾花A(第1次)	117	SA35-255内包土	1340	アワ コキンバイザサ	1 1	
50	尾花A(第1次)	118	SA35-255内包土	1740	コキンバイザサ	1	
51	尾花A(第1次)	119	SC49-III層	1,560			
52	尾花A(第1次)	120	SA23-SC1埋土	1740	コキンバイザサ	1	
53	尾花A(第1次)	122	SA3-SC1埋土	3200			
54	尾花A(第1次)	123	SA8-SC1埋土	1,000	アカメガシワ	2	
55	尾花A(第1次)	124	SA20-SC1埋土	3,240	タデ属	1	
56	尾花A(第1次)	125	SC109-埋土	3,560			
57	尾花A(第1次)	126	SA102-埋土	620			
58	尾花A(第1次)	127	SA16-SC1埋土	2,400			
59	尾花A(第1次)	128	SA13-埋土	1,840	オトギリソウ属	1	
60	尾花A(第1次)	129	SC37-敷石上面	2,200			
61	尾花A(第1次)	130	SC37-敷石上面	1,960			
62	尾花A(第1次)	131	SA5-SC1埋土	1,840			
63	尾花A(第1次)	132	SA37-SC1埋土	1,080			
64	尾花A(第1次)	133	SA14-SC1埋土	1,140	タデ属	1	
65	尾花A(第1次)	135	SA15-SC2埋土	2,900			
66	尾花A(第1次)	136	SA102-SC301埋土	980			
67	尾花A(第1次)	137	SA3-SC3埋土	1,900			
68	尾花A(第1次)	138	SX1-床上	2,680			
69	尾花A(第1次)	139	SA18-SC1埋土	3,000	コキンバイザサ ヒユ属	4 6	
70	尾花A(第1次)	140	SA11-SC1埋土	1,700			
71	尾花A(第1次)	141	SA20-SC2埋土	4,340	キラソウ属	1	
72	尾花A(第1次)	142	SA18-SC1埋土	1,120			
73	尾花A(第1次)	143	SC37-敷石上面	1,520			
74	尾花A(第1次)	144	SC52-埋土	3,400	コキンバイザサ	1	
75	尾花A(第1次)	145	SC2-埋土	3,680			
76	尾花A(第1次)	146	SA45-土器内包土	3,180	コキンバイザサ	4	
77	尾花A(第1次)	147	SC47-埋土	1,320			
78	尾花A(第1次)	148	SA11-SC1埋土	1,220	カヤツリグサ科	1	
79	尾花A(第1次)	149	SA3-SC3埋土	1,440			
80	尾花A(第1次)	150	SA35-260内包土	1,020			
81	尾花A(第1次)	151	SA13-SC2埋土	1,800	カヤツリグサ科	1	
82	尾花A(第1次)	152	SA5-SC1埋土	1,900			
83	尾花A(第1次)	153	SC88-埋土	2,880	イネ オオムギ	1 3	
84	尾花A(第1次)	154	SA18-SC1埋土	2,020			
85	尾花A(第1次)	155	SA11-SC1埋土	2,300			
86	尾花A(第1次)	156	SA11-SC1埋土	1,800			
87	尾花A(第1次)	157	SA47-埋土	4,760			
88	尾花A(第1次)	158	SA15-SC2埋土	3,280			
89	尾花A(第1次)	159	SA16-SC2埋土	3,440	コキンバイザサ	4	
90	尾花A(第1次)	160	SC43-埋土	860			
91	尾花A(第1次)	161	SC15-埋土	1,200			
92	尾花A(第1次)	162	SA55-SC1埋土	1,960			
93	尾花A(第1次)	163	SA20-SC1埋土	2,940			
94	尾花A(第1次)	164	SC23-埋土	960			

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)		備考
95	尾花A(第1次)	165	SC92-埋土	1,700	イネ ササゲ属	1 1	
96	尾花A(第1次)	166	SA14-SC1埋土	1,460			
97	尾花A(第1次)	167	SA14-SC1埋土	1,420			
98	尾花A(第1次)	168	SA12-SC11埋土	1,660			
99	尾花A(第1次拡張)	1	S22-床上	2,060	コナラ属	4	
100	尾花A(第1次拡張)	2	S105-S144埋土	1,420			
101	尾花A(第1次拡張)	3	S70-床上	1,140			
102	尾花A(第1次拡張)	4	S344-土器内包土	200			
103	尾花A(第1次拡張)	5	S404-焼土	2,280	イネ	1	
104	尾花A(第1次拡張)	6	S409-b埋土	1,640	タデ属サナエタデ 節	2	
105	尾花A(第1次拡張)	7	S420-654内包土	200			
106	尾花A(第1次拡張)	8	S420-653内包土	2,200			
107	尾花A(第1次拡張)	9	S491-床上	2,960			
108	尾花A(第1次拡張)	10	S521-S582埋土	2,660	コキンバイザサ	1	
109	尾花A(第1次拡張)	11	S521-S582埋土	2,660			
110	尾花A(第1次拡張)	12	S521-S587埋土	2,400	バラ科 イネ	1 1	
111	尾花A(第1次拡張)	13	S622-630埋土	1,660	イネ アワ	1 1	
112	尾花A(第1次拡張)	14	S521-S702埋土	3,200			
113	尾花A(第1次拡張)	15	S770-埋土	3,200			
114	尾花A(第1次拡張)	16	S778-埋土	2,380			
115	尾花A(第1次拡張)	17	S820-588内包土	520	コキンバイザサ	2	
116	尾花A(第1次拡張)	18	S1016-S1145埋土	3,300			
117	尾花A(第1次拡張)	19	S1016-S1145埋土	2,680	コキンバイザサ	6	
118	尾花A(第1次拡張)	20	S404-S407埋土	2,540	コキンバイザサ	2	
119	尾花A(第1次拡張)	21	S404-S407埋土	2,090	コキンバイザサ	29	
120	尾花A(第1次拡張)	22	S404-S407埋土	2,700	コキンバイザサ	1	
121	尾花A(第1次拡張)	23	S409-a埋土	5,220	タデ属	1	
122	尾花A(第1次拡張)	24	S409-b埋土	4,130	タデ属	1	
123	尾花A(第1次拡張)	25	S420-658内包土	1,480			
124	尾花A(第1次拡張)	26	S420-653内包土	2,560	カヤツリグサ科	2	
125	尾花A(第1次拡張)	27	S610-中央SC埋土	1,710	タデ属サナエタデ 節 アカザ属	1 58	
126	尾花A(第1次拡張)	28	S778-埋土	2,380			
127	尾花A(第1次拡張)	29	S781-S779埋土	1,980	コキンバイザサ	2	
128	尾花A(第1次拡張)	30	S980-S1000埋土	2,500			
129	尾花A(第1次拡張)	31	S790-S1022埋土	1,620			
130	尾花A(第1次拡張)	32	S1016-S1144埋土	4,620			
131	尾花A(第1次拡張)	33	S1016-S1145埋土	1,900			
132	尾花A(第1次拡張)	34	S781-S779埋土	1,940			
133	尾花A(第1次拡張)	35	S37-床上	点上げ	コナラ属	1	
134	尾花A(第1次拡張)	36	S37-床上	点上げ	コナラ属	1	
135	尾花A(第1次拡張)	37	S37-床上	点上げ	コナラ属	2	
136	尾花A(第1次拡張)	38	S37-床上	点上げ	コナラ属	1	
137	尾花A(第1次拡張)	39	S37-床上	点上げ	コナラ属	2	
138	尾花A(第1次拡張)	40	S37-床上	点上げ	コナラ属	1	
139	尾花A(第1次拡張)	41	S37-床上	点上げ	コナラ属	1	
140	尾花A(第1次拡張)	42	S37-床上	点上げ	コナラ属	1	
141	尾花A(第1次拡張)	43	S37-床上	点上げ	コナラ属	1	
142	尾花A(第1次拡張)	44	S37-床上	点上げ	コナラ属	2	
143	尾花A(第1次拡張)	45	S37-床上	点上げ	コナラ属	1	
144	尾花A(第1次拡張)	46	S37-床上	点上げ	コナラ属	1	
145	尾花A(第1次拡張)	47	S37-床上	点上げ			

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
146	尾花A(第1次拡張)	48	S37-床上	点上げ	コナラ属	1
147	尾花A(第1次拡張)	49	S37-床上	点上げ	コナラ属	1
148	尾花A(第1次拡張)	50	S37-床上	点上げ	コナラ属	1
149	尾花A(第1次拡張)	51	S37-床上	点上げ	コナラ属	1
150	尾花A(第1次拡張)	52	S37-床上	点上げ	コナラ属	2
151	尾花A(第1次拡張)	53	S37-床上	点上げ	コナラ属	1
152	尾花A(第1次拡張)	54	S37-床上	点上げ		
153	尾花A(第1次拡張)	55	S37-床上	点上げ	コナラ属	1
154	尾花A(第1次拡張)	56	S37-床上	点上げ	コナラ属	1
155	尾花A(第1次拡張)	57	S37-床上	点上げ	コナラ属	5
156	尾花A(第1次拡張)	58	S37-床上	点上げ	コナラ属	2
157	尾花A(第1次拡張)	59	S37-床上	点上げ	コナラ属	1
158	尾花A(第1次拡張)	60	S37-床上	点上げ	コナラ属	3
159	尾花A(第1次拡張)	61	S37-床上	点上げ	コナラ属	1
160	尾花A(第1次拡張)	62	S37-床上	点上げ	コナラ属	1
161	尾花A(第1次拡張)	63	S37-床上	点上げ	コナラ属	1
162	尾花A(第1次拡張)	93	S101-埋土	2,320		
163	尾花A(第1次拡張)	115	S101-I層	2,280	ナス科	1
164	尾花A(第1次拡張)	121	S101-埋土	2,900		
165	尾花A(第1次拡張)	134	S101-埋土	2,040		
166	尾花A(第2次)	169	S4-地床炉	4,120	アワ ヒユ キビ属	5 3 2
167	尾花A(第2次)	170	S5	3,300		
168	尾花A(第2次)	171	S5	2,840		
169	尾花A(第2次)	172	S2005	4,840	タデ属	3
170	尾花A(第2次)	173	S2009	2,180		
171	尾花A(第2次)	174	S2010-焼土1	3,720	タデ属サナエタデ 節	1
172	尾花A(第2次)	175	S2010-焼土2	2,580		
173	尾花A(第2次)	176	S2010-焼土3	1,400	イネ科	1
174	尾花A(第2次)	177	S2010-焼土4	2,820		
175	尾花A(第2次)	178	S2016-783内包 土	3,000	カヤツリグサ科	8
176	尾花A(第2次)	180	S2502	2,120		
177	尾花A(第2次)	181	S2502	2,460		
178	尾花A(第2次)	182	S2502	1,500		
179	尾花A(第2次)	183	S3001-819内包 土	2,400		
180	尾花A(第2次)	184	S3003-925内包 土	1,960		
181	尾花A(第2次)	185	S3003-埋土	3,860		
182	尾花A(第2次)	186	S3003-埋土	3,500		
183	尾花A(第2次)	187	S3003-埋土	3,220		
184	尾花A(第2次)	188	S3003-埋土	4,060		
185	尾花A(第2次)	189	S3001-822内包 土	2,780	カヤツリグサ科 コキンバイザサ	1 3
186	尾花A(第2次)	190	S3001-822内包 土	2,180	カヤツリグサ科 コキンバイザサ	1 1
187	尾花A(第2次)	191	S3001-812内包 土	2,760	カヤツリグサ科	6
188	尾花A(第2次)	192	S3001-812内包 土	1,240	オヒシバ イネ科 カヤツリグサ科 ヒユ属 ナデシコ科 ハギ属 キランソウ属 シソ科	4 5 5 23 1 1 2 7
189	尾花A(第2次)	193	S3001-812内包 土	1,800	カヤツリグサ科 アカザ属	1 1
190	尾花A(第3次A)	194	S123-埋土	4,980		
191	尾花A(第3次A)	195	S120-埋土	3,180		
192	尾花A(第3次A)	196	S123-c埋土	10,560	タデ属	1
193	尾花A(第3次A)	197	S119-P11埋土	10,300	イネ カヤツリグサ科 コキンバイザサ ササゲ属	7 1 1 1
194	尾花A(第3次A)	198	S107-SC1埋土	6,820		

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)		備考
195	尾花A(第3次A)	199	S107-焼土1	3,380	イネ アワ カヤツリグサ科	2 1 1	
196	尾花A(第3次A)	200	S155-SC1埋土	11,520	イネ アワ カヤツリグサ科 ササゲ属	5 2 1 1	
197	尾花A(第3次A)	201	S155-SC1埋土	5,220	イネ	1	
198	尾花A(第3次A)	202	S161-埋土	5,060	イネ	1	
199	尾花A(第3次A)	203	S4-埋土	4,920	タデ属	2	
200	尾花A(第3次A)	206	S125	2,780			
201	尾花A(第3次A)	207	S102-956内包土	310			
202	尾花A(第3次A)	208	S102-埋土	880			
203	尾花A(第3次A)	209	S120-埋土	1,060			
204	尾花A(第3次A)	210	S108-埋土	820	イネ アワ コキンバイザサ	1 1 2	
205	尾花A(第3次A)	211	S161-埋土	570	ナデシコ科	4	現世の種実
206	尾花A(第3次A)	212	S110-埋土	140			
207	尾花A(第3次A)	213	S107-983内包土	160	ナデシコ科	6	現世の種実
208	尾花A(第3次A)	214	S160-埋土	190	オヒシバ	7	
209	尾花A(第3次A)	215	S116-埋土	690	ナデシコ科	1	現世の種実
210	尾花A(第3次A)	216	S108-埋土	960			
211	尾花A(第3次A)	217	S110-埋土	690			
212	尾花A(第3次A)	218	S161-1185内包土	1,310	ブドウ属 イネ	1 2	
213	尾花A(第3次B)	219	S29-床上	1,080	ササゲ属	2	
214	尾花A(第3次B)	220	S67-底	2,140			
215	尾花A(第3次B)	221	S69-II層	540			
216	尾花A(第3次B)	222	S1-焼土	1,520			
217	尾花A(第3次B)	223	S10-埋土	4,920	イネ タデ属		
218	尾花A(第3次B)	224	S12-埋土	4,080			
219	尾花A(第3次B)	225	S32-埋土	7,340			
220	尾花A(第3次B)	226	S33-埋土	6,020			
221	尾花A(第3次B)	227	S34-底	3,920	カヤツリグサ科	1	
222	尾花A(第3次B)	228	S34-IV層	3,460	イネ	41	
223	尾花A(第3次B)	229	S35-底	2,880	イネ	1	
224	尾花A(第3次B)	230	S36-床上	2,620	イネ	1	
225	尾花A(第3次B)	231	S44-底	4,000			
226	尾花A(第3次B)	232	S45-埋土	1,740			
227	尾花A(第3次B)	233	S45-埋土	2,800			
228	尾花A(第3次B)	234	S45-II層	4,540			
229	尾花A(第3次B)	235	S45-底	3,880	イネ	1	
230	尾花A(第3次B)	236	S47-埋土	3,840			
231	尾花A(第3次B)	237	S50-底	1,940			
232	尾花A(第3次B)	238	S51-底	1,620			
233	尾花A(第3次B)	239	S12-1326内包土	2,560			
234	尾花A(第3次B)	240	S91-c底	1,940			
235	尾花A(第3次B)	241	S90-b埋土	2,200	タデ属	1	
236	尾花A(第3次B)	242	S91-b埋土	1,500			
237	尾花A(第3次B)	243	S83-埋土	920			
238	尾花A(第3次B)	244	S85-埋土	2,020	ムギ類 コキンバイザサ	1 1	
239	尾花A(第3次B)	245	S103-埋土	4,280	イシミカワ	8	
240	尾花A(第3次B)	246	S49-底	7,000	タデ属サナエタデ 節	1	
241	尾花A(第3次B)	247	S49-埋土	1,160	イネ	1	
242	尾花A(第3次B)	248	S19-埋土	2,440	コナラ属 アワ	5 1	
243	尾花A(第3次B)	249	S103-II層	9,790			
244	尾花A(第3次B)	250	S103-II層	11,700	イネ	1	
245	尾花A(第3次B)				ヒエ	1	
246	尾花A(第3次B)	251	S103-底	6,120	イネ カヤツリグサ科	1 1	
247	尾花A(第3次B)	252	S5-1259内包土	820			
248	尾花A(第3次B)	253	S17-P14焼土	2,020	イネ	1	

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
249	尾花A(第3次B)	254	S103-埋土	6,640	イネ	1
250	尾花A(第3次B)	255	S8-埋土	10,140		
251	尾花A(第3次B)	256	S12-1330内包土	1,000		
252	尾花A(第3次B)	257	S12-1334内包土	480		
253	尾花A(第3次B)	258	S12-1328内包土	900		
254	尾花A(第3次B)	259	S12-1327内包土	1,380		
255	尾花A(第3次B)	260	S5-V層	420		
256	尾花A(第3次B)	261	S48-1816内包土	1,000		
257	尾花A(第3次B)	262	S7-1289内包土	980		
258	尾花A(第3次B)	263	S12-1329内包土	1,100		
259	尾花A(第3次B)	264	S197-埋土	1,620		
260	尾花A(第3次B)	265	S12-1332内包土	2,980		
261	尾花A(第3次B)	266	S12-1327内包土	800		
262	尾花A(第3次B)	267	S114-1832内包土	4,990	イネ コムギ	1 1
263	尾花A(第3次B)	268	S145-底	4,460		
264	尾花A(第3次B)	269	S150-1637内包土	2,420	イネ	2
265	尾花A(第3次B)	270	S157-1697内包土	520		
266	尾花A(第3次B)	271	S13-d埋土	1,500	イネ	1
267	尾花A(第3次B)	272	S150-1645内包土	740		
268	尾花A(第3次B)	273	S163-1716内包土	880		
269	尾花A(第3次B)	274	S164-1731内包土	240	タデ属	15
270	尾花A(第3次B)	275	P67-埋土	290		
271	尾花A(第3次B)	276	S15-1381内包土	250		
272	尾花A(第3次B)	277	S9-1内包土	930		
273	尾花A(第3次B)	278	S45-14内包土	910		
274	尾花A(第3次B)	279	S13-28内包土	1,660		
275	尾花A(第3次B)	280	S13-C20	点上げ	モモ	3
276	尾花A(第3次B)	281	S19-C5	点上げ	コナラ属	1
277	尾花A(第3次B)	282	S19-C6	点上げ		
278	尾花A(第3次B)	283	S19-C8	点上げ	コナラ属	1
279	尾花A(第3次B)	284	S19	不明	コナラ属クヌギ節	11
280	尾花A(第3次C)	285	S70-埋土	500	イネ コキンバイザサ タデ属	2 8 1
281	尾花A(第3次C)	286	S40-1996内包土	1,520		
282	尾花A(第3次C)	287	S40-埋土	3,360		
283	尾花A(第3次C)	288	S38-1979内包土	320		
284	尾花A(第3次C)	289	S33-埋土	3,940	コキンバイザサ エゴマ	14 1
285	尾花A(第3次C)	290	S41-2026内包土	360		
286	尾花A(第3次C)	291	S68-埋土	1,000		
287	尾花A(第3次C)	292	S41-2029内包土	120		
288	尾花A(第3次C)	293	S68-埋土	1,080	サンショウ属	1
289	尾花A(第3次C)	294	S81-2105内包土	260		
290	尾花A(第3次C)	295	S81-2103内包土	200		
291	尾花A(第3次C)	296	S25-1954内包土	不明		
292	尾花A(第3次C)	297	S43-c埋土	不明	コナラ属	19
293	尾花A(第3次C)	298	S43-埋土	不明	コナラ属	24

196集 野地久保畠遺跡

試料No	遺跡名	位置	乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
1	野地久保畠	S2	記録なし		
2	野地久保畠	S5	記録なし		
3	野地久保畠	S9	130		
4	野地久保畠	S11	570		
5	野地久保畠	S12	240		
6	野地久保畠	S13	160		
7	野地久保畠	S15	記録なし		
8	野地久保畠	S24	120		
9	野地久保畠	S32	記録なし	オオムギ	
10	野地久保畠	S33	記録なし		
11	野地久保畠	S35	100		
12	野地久保畠	S36	150		
13	野地久保畠	S37	180		
14	野地久保畠	S38	記録なし		
15	野地久保畠	S42	140		
16	野地久保畠	S43	100		
19	野地久保畠	S50	記録なし		
20	野地久保畠	S51	120		
21	野地久保畠	S52	110		
22	野地久保畠	S55	190	ムギ類	1
23	野地久保畠	S57	140		
24	野地久保畠	S58	120		
25	野地久保畠	S61	150		
26	野地久保畠	S62	120		
27	野地久保畠	S64	120		
28	野地久保畠	S67	160		
29	野地久保畠	S68	100		
30	野地久保畠	S70	120		
31	野地久保畠	S71	130		
32	野地久保畠	S72	130		
33	野地久保畠	S73	110		
34	野地久保畠	S84	130		
35	野地久保畠	S86	130		
36	野地久保畠	S89	80		
37	野地久保畠	S91	130		
38	野地久保畠	S95	200		
39	野地久保畠	S96	170		
40	野地久保畠	S103	番号重複により不明		
41	野地久保畠	S106	230		
42	野地久保畠	S107	260	マメ科	1
43	野地久保畠	S108	750	オヒシバ	1
44	野地久保畠	S109	番号重複により不明		
45	野地久保畠	S115	170		
46	野地久保畠	S122	不明		
47	野地久保畠	S123	250		
48	野地久保畠	S128	210		
49	野地久保畠	S131	160		
50	野地久保畠	S133	240		
51	野地久保畠	S139	190		
52	野地久保畠	S145	130		
53	野地久保畠	S146	240		
54	野地久保畠	S148	170		
55	野地久保畠	S149	210		
56	野地久保畠	S152	220		
57	野地久保畠	S156	170		
58	野地久保畠	S158	170		
59	野地久保畠	S160	280		
60	野地久保畠	S162	190	カヤツリグサ科	1
61	野地久保畠	S163	240		
62	野地久保畠	S165	320		
63	野地久保畠	S168	180	ヤマモモ	2
64	野地久保畠	S173	240		
65	野地久保畠	S180	260		
66	野地久保畠	S189	170		

試料No	遺跡名	位置	乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
67	野地久保畠	S191	250		
68	野地久保畠	S196	250		
69	野地久保畠	S197	220		
70	野地久保畠	S198	90		
71	野地久保畠	S199	240		
72	野地久保畠	S203	100		
73	野地久保畠	S204	110		
74	野地久保畠	S207	240		
75	野地久保畠	S208	190		
76	野地久保畠	S214	220		
77	野地久保畠	S217	130		
78	野地久保畠	S221	160		
79	野地久保畠	S223	280		
80	野地久保畠	S226	記録なし		
81	野地久保畠	S228	記録なし		
82	野地久保畠	S237	140		
83	野地久保畠	S245	230		
84	野地久保畠	S248	140		
85	野地久保畠	S249	番号重複により不明		
86	野地久保畠	S251	170		
87	野地久保畠	S259	150		
88	野地久保畠	S262	140		
89	野地久保畠	S272	200		
90	野地久保畠	S273	300		
91	野地久保畠	S275	270		
92	野地久保畠	S278	230		
93	野地久保畠	S279	120		
94	野地久保畠	S282	170		
95	野地久保畠	S289	170		
96	野地久保畠	S297	440		
97	野地久保畠	S301	240		
98	野地久保畠	S303	250		
99	野地久保畠	S304	260		
100	野地久保畠	S305	200		
101	野地久保畠	S307	240		
102	野地久保畠	S308	250		
103	野地久保畠	S309	140	カヤツリグサ科	1
104	野地久保畠	S314	180		
105	野地久保畠	S315	150		
106	野地久保畠	S317	120		
107	野地久保畠	S318	440		
108	野地久保畠	S320	番号重複により不明		
109	野地久保畠	S321	120		
110	野地久保畠	S322	番号重複により不明		
111	野地久保畠	S325	170		
112	野地久保畠	S328	210		
113	野地久保畠	S330	200		
114	野地久保畠	S334	130		
115	野地久保畠	S340	140		
116	野地久保畠	S341	220		
117	野地久保畠	S345	200		
118	野地久保畠	S350	110		
119	野地久保畠	S353	140		
120	野地久保畠	S366	200		
121	野地久保畠	S370	210		
122	野地久保畠	S374	210		
123	野地久保畠	S381	180		
124	野地久保畠	S382	290		
125	野地久保畠	S383	170	オオムギ	1
126	野地久保畠	S387	250		
127	野地久保畠	S389	190		
128	野地久保畠	S392	180	ムギ類	1
129	野地久保畠	S393	150		
130	野地久保畠	S403	150		

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
131	野地久保畠	S406		160		
132	野地久保畠	S409		130		
133	野地久保畠	SZ1		170		
134	野地久保畠	SC2		2590		

213集 向原中尾第2遺跡

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
1	向原中尾第2	SI14	埋土1層	5,750	キンバイザサ	1
2	向原中尾第2	SI14	埋土2層	4,700		
3	向原中尾第2	SI14	埋土4層	3,900		
4	向原中尾第2	SA3	MS2床土	30,350		
5	向原中尾第2	SA3	MS3床土	30,900	キンバイザサ	1
6	向原中尾第2	SA3	MS4床土	45,550	コナラ属 イネ アワ カヤツリグサ科 キンバイザサ	1 2 2 1 4
7	向原中尾第2	SA3	MS5床土	8,850		
8	向原中尾第2	SA3	MN2床土	31,000	イネ アワ カヤツリグサ科	3 2 2
9	向原中尾第2	SA3	MN3床土	31,300		
10	向原中尾第2	SA3	MN4床土	29,950	カラスザンショウ イネ アワ	1 1 1
11	向原中尾第2	SA3	MN5床土	18,400		
14	向原中尾第2	SA3	S3床土	14,150		
15	向原中尾第2	SA3	S4床土	7,750		
16	向原中尾第2	SA3	S5床土	4,400		
17	向原中尾第2	SA3	N1床土	10,350		
18	向原中尾第2	SA3	N2床土	2,750		
19	向原中尾第2	SA3	N3床土	18,700	イネ カヤツリグサ科 キンバイザサ	3 1 1
20	向原中尾第2	SA3	N4床土	13,100		
21	向原中尾第2	SA3	N5床土	7,200		
22	向原中尾第2	SA3	土坑1埋土	15,450	イネ	2
23	向原中尾第2	SA4	土坑内埋土	4,750		
24	向原中尾第2	SA4	カメ埋土	2,450		
25	向原中尾第2	SA4	カメ②	1,350		
26	向原中尾第2	SA5	SE1床土	6,450	ブドウ属 キンバイザサ	1 1
27	向原中尾第2	SA5	SE2床土	2,050		
28	向原中尾第2	SA5	SE3床土	500		
29	向原中尾第2	SA5	SE4床土	5,750	キンバイザサ	6
30	向原中尾第2	SA5	SE5床土	4,700	キンバイザサ	3
31	向原中尾第2	SA5	SE6床土	850		
32	向原中尾第2	SA5	SE7床土	150	キンバイザサ	2
33	向原中尾第2	SA5	SW1床土	1,250	イネ	1
34	向原中尾第2	SA5	SW2床土	4,350	カヤツリグサ科 キンバイザサ	1 1
35	向原中尾第2	SA5	SW3床土	2,700		
36	向原中尾第2	SA5	SW4床土	250		
37	向原中尾第2	SA5	SW5床土	5,550	アワ キンバイザサ	1 2
38	向原中尾第2	SA5	SW6床土	5,100		
39	向原中尾第2	SA5	SW7床土	650		
40	向原中尾第2	SA5	SW8床土	2,150		
41	向原中尾第2	SA5	NE1床土	1,250		
42	向原中尾第2	SA5	NE2床土	600		
43	向原中尾第2	SA5	NE3床土	6,000		
44	向原中尾第2	SA5	NE4床土	5,900		
45	向原中尾第2	SA5	NE5床土	450		
46	向原中尾第2	SA5	NE6床土	4,400		
47	向原中尾第2	SA5	NE7床土	4,300		
48	向原中尾第2	SA5	NE8床土	450		
49	向原中尾第2	SA5	NW1床土	450		

試料No	遺跡名	位置		乾燥後重量(g)	出土種実数 (果実・子葉も含む)	備考
50	向原中尾第2	SA5	NW2床土	650		
51	向原中尾第2	SA5	NW3床土	1,550		
52	向原中尾第2	SA5	NW4床土	5,500		
53	向原中尾第2	SA5	NW5床土	200		
54	向原中尾第2	SA5	NW6床土	2,550		
55	向原中尾第2	SA5	NW7床土	4,750		

執筆者

谷口めぐみ	宮崎県埋蔵文化財センター	調査第一課調査第二担当	主事
橋本 英俊	宮崎県埋蔵文化財センター	調査第一課調査第一担当	主査
吉本 正典	宮崎県埋蔵文化財センター	調査第二課調査第三担当	副主幹

投稿規定

- 1 投稿できるのは、宮崎県埋蔵文化財センター職員及び紀要編集担当が認める者とする。
- 2 投稿原稿は、当該年度の紀要編集担当が定める期日までに提出する。紀要編集担当が指名する匿名査読者の査読を経た上で掲載する。
- 3 原稿は宮崎県の埋蔵文化財及び関連する諸分野に関する論文、研究ノート、資料紹介とする。既発表のものは受理しない。
- 4 1編あたりの分量は20頁以内、1人1件を原則とする。

宮崎県埋蔵文化財センター

研究紀要

第1集

2013年3月30日

編集・発行：宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂 4019 番地

TEL：0985-36-1172 FAX：0985-72-0660

Miyazaki Prefecture Archaeological Center

Research Bulletin

vol. 1

2013.3



Miyazaki Prefecture Archaeological Center